

中心市街地に若者を呼び込む ～釧路北大通り商店街が生き返るためには～

釧路公立大学 経済学部 神野ゼミ B班

大田和一輝、小田桐真子、木下蒼生、三澤瑞歩、若杉航陽

目次

概要

- ▶ 第1章 研究テーマ
- ▶ 第2章 釧路の紹介
- ▶ 第3章 北大通の紹介
- ▶ 第4章 なぜ若者が重要なのか
- ▶ 第5章 インタビュー
- ▶ 第6章 おわりに

1章 研究テーマ



北大通周辺の地域をどのような形で活用するか。またどのように中心市街地に若者を呼び込むか。

1-2 私たちの考える若者

私たちはテーマを研究するにあたって、
若者の定義を高校生から大学生とした。



1 - 3 なぜ若者を呼びこむことが重要なのか

若者の活動が地域に活力を与えられるのでは？

活動に感化された地域住民が若者と共にまちづくりを進められる！

若者の発信が北大通のPRにつながる！

2章 釧路の紹介

面積 136,329平方km

人口 約160,000人

世帯数 約94,000世帯



3章 北大通りの紹介



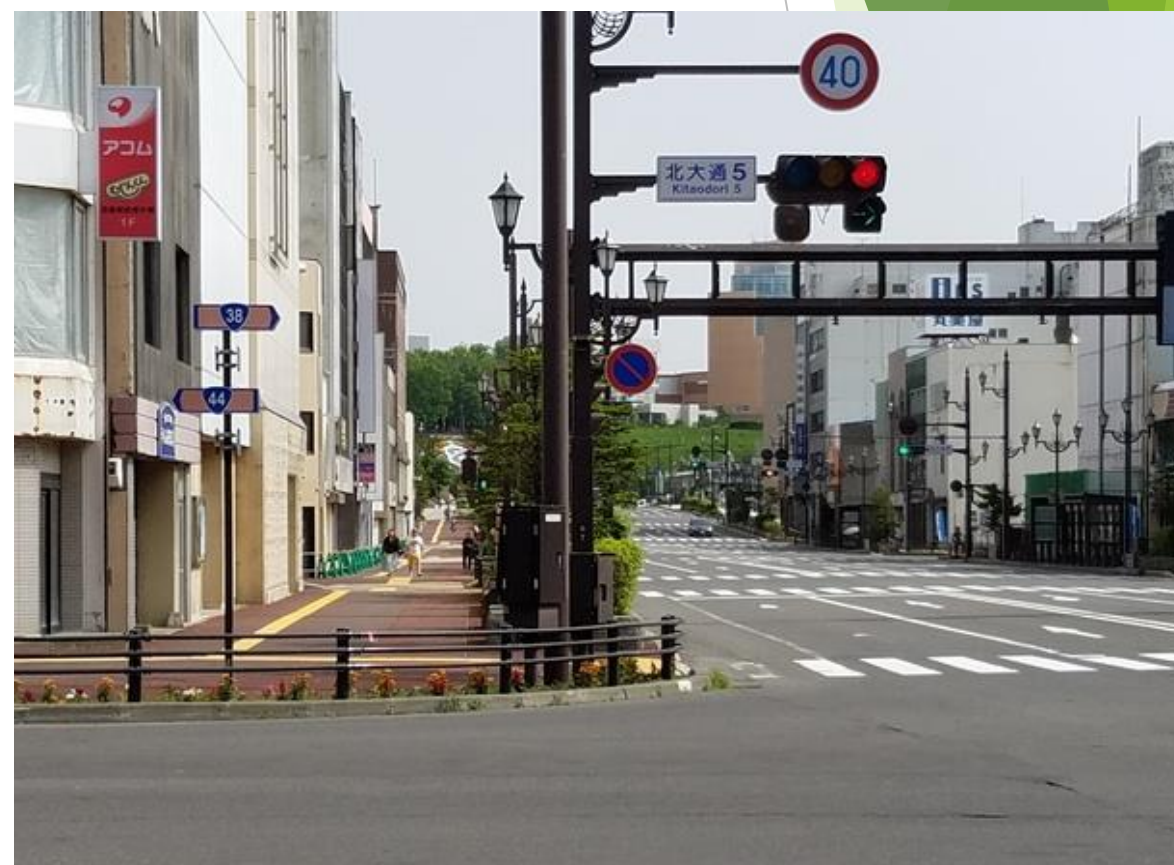
- ・ 鉏路駅から幣舞橋までの広い幹線道路のこと。
- ・ 距離は約900m。
- ・ 徒歩で片道約15分。
- ・ 歩道の幅は4.2m
- ・ 片側3車線
- ・ 国道と道道に分離

3 - 1 北大通の今と昔

昭和40年代北大通



現在の北大通



3-2 北大通の現状

令和元年度結果

<表7> 北大通地区における店舗現況（単位：件）

エリア名	調査対象 店舗数			店舗現況					
				うち空き店舗数			構成比		
	R1	H30	H29	R1	H30	H29	R1	H30	H29
① 釧路第一商店街エリア	92	88	80	33	29	27	35.9%	33.0%	33.8%
② くしろ北大通商店街エリア	50	50	53	10	7	9	20.0%	14.0%	17.0%
④ 釧路末広仲見世通商店会エリア	26	26	26	3	3	2	11.5%	11.5%	7.7%
③ (釧路駅前商店街エリア)	69	69	67	17	15	17	24.6%	21.7%	25.4%
合計	237	233	226	63	54	55	26.6%	23.2%	24.3%

北大通地区における店舗現況は、昨年度と比べ、調査対象店舗数で4件の増加、空き店舗数で9件の増加となった。

平成27年度調査結果

エリア名	調査対象 店舗数			店舗現況					
				うち空き店舗数			構成比		
	H27	H26	H25	H27	H26	H25	H27	H26	H25
釧路第一商店街エリア	103	103	103	42	41	34	40.8%	39.8%	33.0%
くしろ北大通商店街エリア	54	57	62	12	13	18	22.2%	22.8%	29.0%
釧路末広仲見世通商店会エリア	24	24	27	4	4	5	16.7%	16.7%	18.5%
(釧路駅前商店街エリア)	68	68	67	18	18	16	26.5%	26.5%	23.9%
合計	249	252	259	76	76	73	30.5%	30.2%	28.2%

3 - 3 北大通周辺の店舗

・ 生鮮食料品店	19 店舗	・ 衣料品店	5 店舗
・ 飲食店	5 店舗	・ 金融・サービス業	4 店舗
・ 珍味店	3 店舗	・ 菓子店	2 店舗
・ 茶店	2 店舗	・ 理美容店	2 店舗
・ 地場産品	1 店舗	・ 惣菜店	1 店舗
・ 仏壇仏具店	1 店舗	・ 化粧品店	1 店舗
・ 生け花店	1 店舗	・ 文具店	1 店舗
・ 古書	1 店舗	・ 補聴器	1 店舗
・ 喫茶店	1 店舗	・ 雑貨	1 店舗
・ 複合市場	1 店舗	・ 眼鏡店	1 店舗

3 - 3 北大通を歩いて分かった現状



- 車通りは多いが歩行者は少なかった。
- 空き店舗が多かった。
- 若者や家族連れが訪れるような店が少なかった。
- 反対側のお店に行きづらい。

3-4 インタビュー

インタビューの目的

1. 北大通を歩き現状を把握するため。
2. インタビューを通して街の課題を発見するため。

その結果を踏まえ釧路の中心市街地の活性化に役立てる方法を考察する。

3-5 インタビューまとめ

- ・若者が行う地域活性化の取り組みに関心がある。
- ・様々な視点で地域活性化についての考えを持っている。
- ・若者の必要性を感じている。

3-6 インタビューの考察

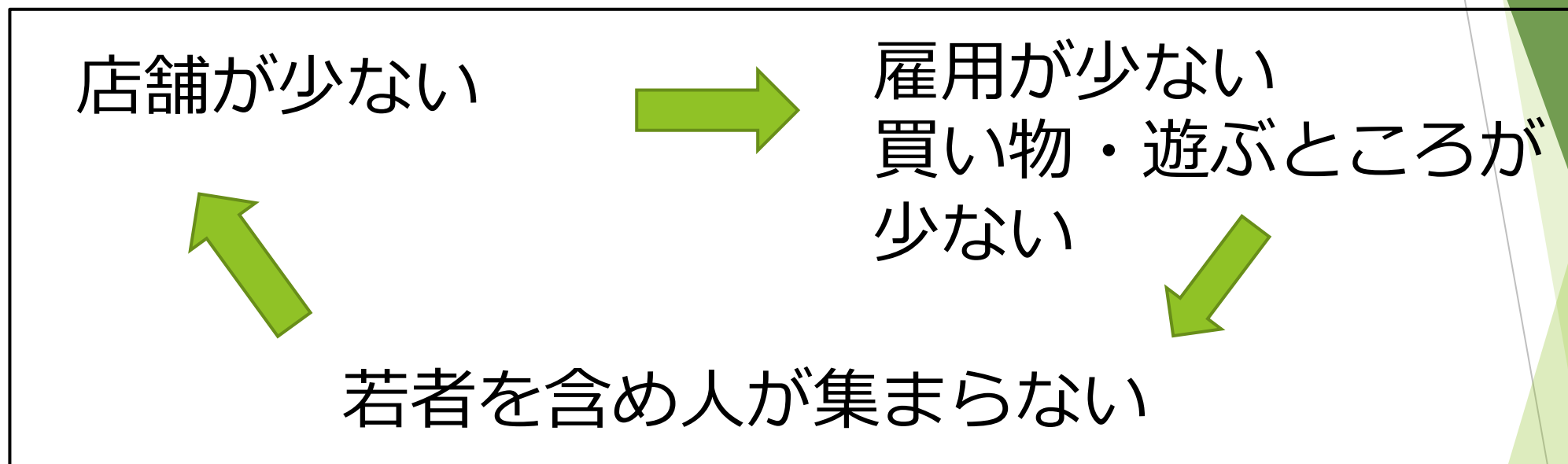


地域活性化には若者の力が必要。
北大通で商売を営む方々の協力が
期待できる。



若者が主体となったイベントを通
じて北大通に若者を呼びこめるの
では？

3 - 7 北大通の現状分析



負のスパイラルができています！

前述のイベントによってこの負の
スパイラルが解消されるのでは？

4章 北大通でイベントを考える

みんなのお店 北大通り支店

『みんなのお店』

- ・ 平日朝7時から夜9時まで食事を提供
- ・ 北大通のコミュニティの場の提供として経営
- ・ 釧路の中心市街地を活性化させようとお客さんと協力してイベント活動
- ・ 北大通が抱える空き店舗をゲストハウスとして利用させている
- ・ 釧路駅から徒歩9分



『みんなのお店』店主

Q 北大通で企画しているイベントは？

- ・ 草ばん馬のPRを目的にしたイベント
- ・ 真冬の大通りのオープンカフェ『アイスバー・タイマツ行進』
- ・ 『わたしはマリモ』の英語での朗読。全国大会の実施。

4 - 2 釧路市に若者はいるのか

<令和元年度釧路市学校基本調査結果>

【高等学校】

8校 生徒数：4,361人（男：2,132人、女：2,229人）

【専修学校】

7校 生徒数：485人（男：77人、女：408人）

【高等専門学校】

1校 学生数：780人（男：645人、女：135人）※専攻科を含む

【短期大学】

1校 学生数：189人（男：14人、女：175人）

【大学】

2校 学生数：2,170人（男：1,448人、女：722人）※大学院を含む

合計：7985人

4-3 北大通でイベントを行うために

釧路の若者が地域の人と一緒に
イベントを考えることで北大通に若者が集まり
活性化につながるのではないかと

5章 おわりに

実際に現地に行くことで北大通の現状を把握し、様々な問題や課題を発見した。これからのゼミ活動では若者を対象としたイベントを開催するための交流の場をつくり、同時に周知活動を行なって北大通の活性化に役立てていきたい。

